

総合的な学習の時間の実践

札幌市

学習を通して心のバリアフリーを！

総合的な学習
6年

共に生きる



車椅子体験をきっかけに、身体に障がいのある方の生活にせまり、実態や問題点について調べ、「全ての人が暮らしやすい世の中」を考えていきます。プラスとマイナスの両面から追究を進めていくことで、新たな見方や考え方があつまれました。

何気ないことが困難だということを実感するために、数時間にわたり、車椅子をしました。

様々な情報を収集させ考えをまとめました。情報を交流することで、いろいろな問題点が表出し、追究のきっかけとなりました。

学習活動の流れ（30時間）

福祉と聞いて思い浮かぶのは？（2）

- ・体に障がいのある人
- ・バリアフリー

車椅子体験をしてみよう（6）

- ・思ってもみなかつた大変さがあつた
- ・みんなで支え合わないと大変だ

どんな障がいをもつた人がいるのかな？（2）

- ・目や耳の不自由な人

暮らしやすくするために必要なことは？（10）

- ・スロープは大切だけど、全部につけると……
- ・盲導犬が必要。でも、数が足りない。どうする？
- ・私たちがそつと手を差し伸べれば……何ができる？

私たちの地域は、みんなが暮らしやすいのかな？（6）

- ・様々な立場で見てみよう

自分たちができることは何だろう（4）

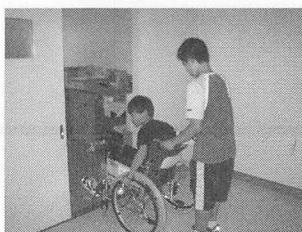
- ・物をそろえてもだめで、みんなが意識しないと
- ・みんなが暮らしやすいということをこれからも考えて

福祉をテーマにした実践です。車椅子体験を通して、これまで思いもしなかった大変さを考えるようになります。福祉の現状は？自分たちにできることは？福祉を学びながら、人との接し方についても考えていきます。



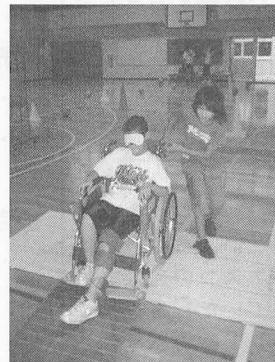
車椅子体験

教材・活動の Point!



2. 様々な情報を判断材料に！

目の不自由な人のことを調べた子供は、盲導犬の充実や点字の普及を考えました。しかし、設置反対の事実など、様々な情報をもとにしながら、自分なりの判断をしていきます。ひとつの情報をじっくり調べることも反対の情報を集めて考えていくことも大事だと気が付きました。



3. 最後は心のバリアフリー！

車椅子や点字など、ものへの注目から、「周囲の人の意識が変わらないと」「何にも変わらない」など、自分たちや社会全体の意識に目を向けるようになりました。障がいのある人を特別視するのではない心のバリアフリーの大切さを感じることができました。

